

安全対策連絡協議会の結果概要

令和5年3月7日
スウェーデン日本国大使館

令和5年2月27日及び3月6日にそれぞれ、対面及びオンラインによる安全対策連絡協議会を開催しました。会合の概要は下記のとおりです。

記

1 参加者

(1) 2月27日（対面）

スウェーデン日本商工会会員（JBC）の方々及び大使館職員

(2) 3月6日（オンライン）

各日本人会、各補習校及び旅行会社の代表者の方々及び大使館職員

2 内容

次のページ以降の資料を用いながらスウェーデンの最近の一般犯罪動向や爆発事件、テロの脅威などを含む治安情勢及び基本的予防策等について説明しました。

令和4年度安全対策連絡協議会

令和5年2月27日
在スウェーデン日本国大使館

1 スウェーデン国内における犯罪

1 過去5年間の犯罪認知件数（統計サイト「Brå」引用）

※2022年度の犯罪件数は本年2月現在未公表

犯罪形態/年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
窃盗・強盗	445,045	435,962	421,495	388,198	—
殺人(※1)	108(43)	111(45)	124(48)	113(45)	—
殺人未遂	868	983	1085	993	—
暴行	83,220	84,575	83,240	82,391	—
性犯罪	22,476	23,197	25,030	27,639	—
爆発事案	162	257	215	175	—
テロ犯罪	17	6	3	2	—
テロ目的勧誘	0	2	6	20	—
合計 (上記犯罪以外を含む)	1,550,626	1,548,406	1,566,872	1,480,557	1,440,000 (速報値)

※1:殺人については、致命的暴力行為による確認件数、()内は銃器による同確認件数

(引用源: <https://bra.se/>)

2 当地警察発表による2021年と2022年(速報値)の発砲及び爆発事件の件数

	発砲事件	爆発事件
2021年	344件(うち死亡45件、負傷115件)	79件(予備、未遂を含めると158件)
2022年	388件(うち死亡61件、負傷106件)	90件(予備、未遂を含めると191件)

スウェーデンにおける犯罪認知件数は2020年をピークに減少傾向にあるが、依然として高い数値を維持しており、また昨年の発砲事件と爆発事件の件数は2021年に比して増加している。

2 スウェーデン国内における爆発事件

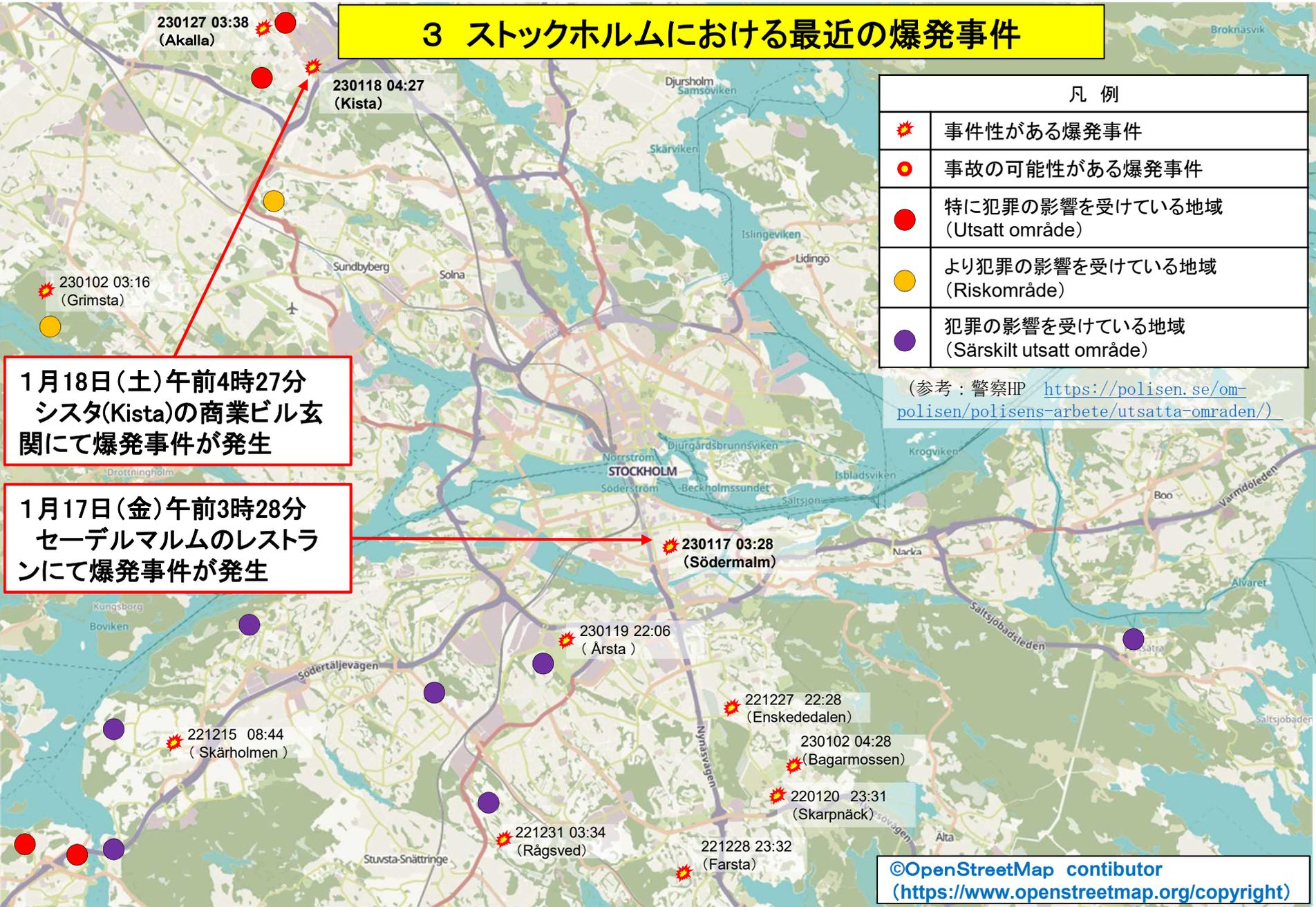
過去5年間の爆発事件の統計(当地警察の発表値)

地域／年度	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
ストックホルム周辺	23	28	32	25	31
西方 (ヴェストラエーランド等2県) ※ヨーテボリが所在	11	21	19	13	13
南方 (スコーネ県等7県) ※マルメ、ヘルシンボリが所在	40	60	40	33	35
その他	16	24	16	8	11
合計	90	133	107	79	90

(引用源：<https://polisen.se/om-polisen/polisens-arbete/sprangningar-och-skjutningar/>)

爆発事件はストックホルム周辺及びスコーネ(特にマルメ、ヘルシンボリ)で多発している。

3 スtockホルムにおける最近の爆発事件



爆発事件は犯罪の影響を受けている地域周辺やギャング構成員の住居等で発生する傾向にあるが、最近では商業地域や繁華街で発生する事もある。

4 テロ・誘拐情勢

● テロの脅威認識

スウェーデン政府は2016年3月2日以降、国内におけるテロ脅威度を5段階中の3(増大した脅威)とし現在に至っています。

レベル3は「攻撃の意思と能力を有した活動家が攻撃を実行に移す可能性が増加した。」とされており、テロ攻撃の可能性が「いまだ高い」ことを意味しています。

● 誘拐及びその他

テロと評価されてはいませんが、近年、ストックホルム県、ヴェストラ・ヨータランド県(ヨーテボリが所在)、スコーネ県(マルメが所在)の都市部近郊の一部地域を中心に、ギャング同士の抗争に起因する爆破事件や発砲事件が頻発しています。

また、2021年の誘拐の認知件数は、514件ですが、これらも犯罪組織やギャングが身代金目的で誘拐する場合や敵対組織を脅迫する目的で誘拐する場合等が知られています。

● 関連報道

2022年8月19日(金)17時頃、スウェーデン南部マルメに所在するショッピングセンター(Emporia)で発砲事件が発生、この事件で男性1名が死亡し一般人女性1名が負傷した。

犯人は15歳の少年で、警察は犯罪組織に関係する事件と考えている旨を発表した。

- スtockホルム周辺では、クリスマス以降銃撃が14件、爆発事件が16件発生している。
- これらは一般的にギャング同士の抗争によるものとされているが、過去一般人にも被害が及んだこともあるため注意が必要。(2013年2月13日現在)

5 最近発生したデモ・集会について

- 最近のデモ・集会
2023年1月21日(土)
- 場 所
トルコ大使館付近／ストックホルム市内
- 内 容
 - ・ 政治活動家のラスムス・パルダン氏がトルコ大使館付近でイスラム教のコーランを焼却
 - ・ 同日ストックホルム中心部で別途、親クルド派等によるスウェーデンのNATO加盟に反対する大規模なデモ行進が行われた。

これらの事案を発端として、スウェーデン内外でこれに対する批判や反発、抗議活動が拡大

- スウェーデン公安警察の評価
2月8日、スウェーデン公安警察は、1月にトルコ大使館付近で行われたコーラン焼却事案に関連し、スウェーデンに対する世界の暴力的イスラム過激主義からの注目が増しており、最近の事態には問題がある。現在のところ、テロ脅威レベルに変更はないが、この状況が続けばテロ脅威レベルが引き上げられる可能性がある。



Säkerhetspolisen

(参考 : <https://www.sakerhetspolisen.se/>)

現在のところ大きな混乱や衝突は発生していないが、今後暴動やテロといった事態が発生する可能性も排除できない。

6 基本予防策の紹介

- テロ事件に巻き込まれないための基本予防策
 - ・ 危ない国・場所・時間帯を避ける。
 - ・ 用心を怠らない、目立たない。
 - ・ 周囲の不審者・不審物に注意を払う。
 - ・ 万が一に備える



※万が一の際の対処法などの詳細は、以下のリンクをご参照ください。（ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル 第1話）

- ・「海外旅行のテロ・誘拐対策」
（ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/counter-terrorism.pdf> ）
- ・「安全の手引き(在スウェーデン日本国大使館)」
（ <https://www.se.emb-japan.go.jp/nihongo/anzennotebiki.pdf> ）
- ・「海外安全ホームページ」
（ <https://www.anzen.mofa.go.jp/> ）
- ・「欧州でのテロ等に対する注意喚起(2022.12.19)」
（ <https://www.se.emb-japan.go.jp/files/100440700.pdf> ）

7 その他

● 安全に関する情報提供

- ・「在留届ホームページ」

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>)

- ・「たびレジホームページ」

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>)

- ・「当地警察ホームページ」

(<https://polisen.se/>)

- ・「犯罪の影響を受けている地域(当地警察ホームページより抜粋)」

(<https://polisen.se/om-polisen/polisens-arbete/utsatta-omraden/>)

- ・「MSB(緊急事態庁)ホームページ」

(<https://www.msb.se/>)

- ・「Krisinformationホームページ(各種緊急事態に関する情報提供)」

(<https://www.krisinformation.se/>)

8 領事関連のご案内

● 各種電子申請の開始について

令和5年3月27日から旅券の申請手続きにオンライン申請が導入されることを始めとして、今後順次、領事手続きにオンライン申請が導入されます。

旅券以外の手続きのオンライン申請の導入時期、利用方法については、時期が来ましたら改めてご案内します。

★ 各種電子申請利用は「**ORRネット(オンライン在留届)**」への**事前登録を前提とて可能**になりますので、ORRネットを利用した在留届の提出をお願いします。

【参考:在留届電子届出「ORRネット」 <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>】

